

清々しい子供たち

先週の金曜日の放課後に、校長室の扉をノックする音が聞こえてきました。「はい。」と返事をする、袋を手にした6年生の女の子が入って来ました。話を聞くと、正門から出て、コミセンからケントメリーさんくらいまでの広範囲に、学習塾のチラシがびりびりに破られ捨てられていたそうです。帰り道にそれらのゴミを見つけ、友達3人と協力して集めたということでした。

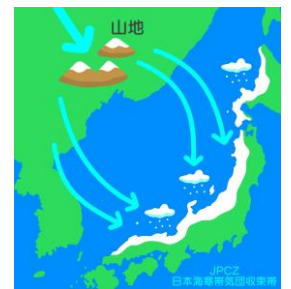


チラシは、下校中の子供たちに配布されたもので、それを破ってゴミとして捨てたのは、帯西の子供である可能性は極めて高いのですが、それを善しとせず、拾ってくれたのもまた帯西の子供たちなのです。拾ってくれた子供たちは「ごみひろいが目的」ではなく、同じ仲間がゴミを捨てているという「気づきを手段」として、その問題を解決するために、公共の在り方を私たちに訴えてくれたのです。

「水は低きに流れ、人は易き(やすき)に流れる」という言葉にあるように、人は無意識のうちに易き(楽な方)へ流されてしまいます。今回も下校中のゴミを「道端のゴミ」として通り過ぎるのではなく、易きに逆らい、「地域のゴミを拾って、公共の在り方に正す」という強い意志で拾ってくれた3人の子供たちの清々しい行動に感謝しています。

謎シリーズ① JPCZ とは？

最近、天気予報を見ていると「JPCZ」という言葉を、天気予報士の方が頻繁に使っています。その意味を調べてみると、日本海寒帯気団収束帯=Japan-sea Polar airmass Convergence Zone という言葉の略語のようです。冬季の日本海では、高度約1kmにおいて数日程度の間ほぼ同じ場所に停滞する長さが1000kmに及ぶ風の収束帯(前線のように風がぶつかる場所)が現れることがあり、この収束帯のことを日本海寒帯気団収束帯と言います。これを線状降水帯に倣って、線状降雪帯と呼ぶこともあるようです。今後は、JPCZの動きにも注目してみましょう。



謎シリーズ② 大統領令とは？

某超大国の大統領就任式が終わると、直ちに「大統領令」なるものが発令されました。この大統領令ですが、これは国民への命令という意味ではありません。大統領は、行政機関(役所)のトップですので、国の役所のトップとして、行政機関に命令を出したのです。しかも、この命令は何でもできるという訳ではなく、憲法に違反するようなものは出せませんし、新たな予算が必要になるような命令も出せません。予算を作るのは議会の役割だからです。しかし、パリ協定離脱など、前の大統領が出した大統領令を撤回することはできるのです。この大統領令には、日本も世界も戦々恐々としながら、一挙手一投足を見逃さないようにしなくてはなりません。

